

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	倉敷市立北中学校	実践者名	達脇 知弘
教科	美術	学年	第3学年
活用内容	PBL 協働学習	実践日	令和4年2学期～2学期
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 3
単元・内容等	スクラップブック (中学生としての三年間を詰め込む卒業制作)		

活用の概要 (目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

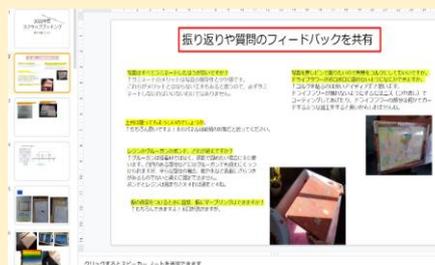
○目的

PBLを中心とした学習活動を活発にするため、制作と鑑賞が一体化した協働的な学習環境を整えた。また、ルーブリックを振り返りシート (学習レポート) と連携させ、指導と評価の一体化を狙う。

○活動の流れ

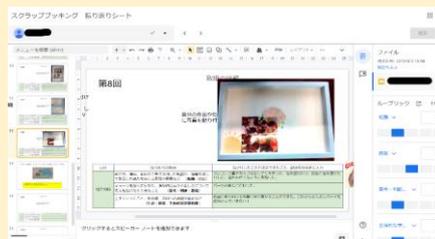
(1) Google スライドでまとめる。

- ・ 全グループのスライドを共有しておくことで、必要に応じて他グループのまとめ方を参考にできるようにする。
- ・ 写真は、生徒の写真だけでなく、教師が撮影したものも貼り付けられるようにファイルで共有する。
- ・ 振り返りのフィードバックをクラウド上で行う。



(2) Google スライドで学習レポートを作成する。

- ・ 制作記録を Google スライドにまとめる。制作に必要な情報もまとめ、学習レポートとして活用する。
- ・ 振り返りの内容によっては制作共有スライドで共有し、生徒の質問を生かして全体の学習活動を促進する。



(3) ルーブリックを学習レポートに連携させる。(指導と評価の一体化)

- ・ 学習活動の様子や振り返り内容から生徒の学習状況を見取り、ルーブリックを活用して授業毎に評価を行う。

実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
<p>ルーブリックの活用で、生徒の主体性と協働性を引き出すことで、生徒一人一人の当事者意識に基づいた学びが可能になり、学習の質上がったことを実感できた。</p> <p>また、「完成作品」よりも「学習過程を」重視して評価できるようになり、生徒は安心して挑戦していた。</p>	<p>(生徒の様子から)</p> <p>固定観念に囚われないことや、挑戦することの大切さ等についての気づきに関することを振り返りで書く生徒が増えた。</p> <p>他者から積極的に学ぼうとする姿勢が見られるようになり、協働学習で他者に教えたり、協力して作業したりすることも多くなった。</p>